

# 株式会社ジェイコムさいたま 東上局 2016 年度放送番組審議会 議事録

2016 年度の放送番組審議会は 2017 年 3 月 10 日(金)にジェイコムさいたま東上局で開催された。

## <放送番組審議会委員>

ご出席者 (五十音順)

岩 下 隆 様 梶 里 美 様  
高 橋 健 治 様 (代理出席 齊 藤 誠 様)  
堀 江 肇 様 水 野 美 代 子 様

事業者側から現況報告及び J:COM チャンネルの取り組みにつき報告があった。

## 【審議 質疑応答】(水野会長による進行)

■『デイリーニュース』、『ジモネタ!ぐっと東上』について

(会長)

これより各委員より審議番組について、ご意見をいただきたい。

(委員)

番組で紹介された取材地は、他の地域の方が観ても場所が判るように地図等を表示することを希望する。

雨の日に情報カメラの映像に水滴が付着していて観にくいことがある。防災情報では危険な場所や氾濫の危険ある川の場所について明確に伝えてほしい。

今はスマートフォンでも4K の撮影が可能なため、J:COM がある程度レクチャーして市民からの映像の情報提供を考えたらどうか。現場に近いタイムリーな情報が得られると思う。志木のイルミネーション点灯式では点灯イベントがあることを事前に告知できないか？

(制作担当)

自ら広く情報の収集を行っているが、地域の皆さんからの情報も参考に生放送である「デイリーニュース」で事前に情報発信を行っている。

(委員)

地域の情報を放送しているため行政側に対して、率先して情報提供を行うよう局からも望みたい。

『ジモネタ！ぐっと東上』などの番組をホームページ等による配信を考えているのか。

(制作担当)

同番組については著作権等の関係もあり、現時点インターネットを利用した配信を実施していない。『デイリーニュース』については近日中に J:COM アプリとして配信するための準備を行っているところである。

(委員)

自分の住む市以外の近隣情報を観ることができるのがコミチャンの良い点である。

毎年開催される市民大会の他、中学生による活動の取組み等の紹介を希望する。

比較的テレビをよく視聴する高齢者に対する情報や高齢者を番組に取上げていただきたい。

食べ物を紹介するならスタジオのキャスターが食べて感想をコメントすれば美味しさがより伝わると思う。食レポも良いが地元企業の新サービスや地域が連携した取組みについても紹介を希望する。

盆踊りの取材ではレポーターと一緒に踊ることにより現場の雰囲気伝わる。

学校の部活動や公立小中学校の「今」について取り上げてもらいたい。

『ジモネタ！ぐっと東上』において番組の冒頭で2人の MC が原稿を読むため下を向いているがそれ位の内容は覚えていただきたい。

#### ■その他について

(会長)

今後のコミチャンに希望することをご発言願いたい。

(委員)

「ど・ローカル」に徹した内容と、昔、東上局で放送していた動物を取上げた番組を企画してもらいたい。

J:COM テレビのシティープロモーション番組(ご当地サタデー)はとても良い企画内容だと思う。市長会見などの放送は少し硬い内容なので、「市長の趣味」とか「市長の休日」など切り口を変えた取材が良い。他の局が思いつかない「ど」がつくようなインパクトのある企画を要望する。

地域に根差した活動を紹介することで視聴者が参加し地域活動の活性化に向けた刺激を与えるコミチャンとなるよう希望する。

「ど・ローカル」番組をどの位の方が観るのかというのもある意味心配であるが、視聴ターゲットを絞った番組を企画してはどうか。

本年度「ど・ローカル」番組が従前の 130%増ということだが、番組を制作する人員も増員されているのか？

(制作担当)

事務所の増員は無いが、増分については制作会社に委託するなどの対応を図っている。

(会長)

委員から有意義な意見や要望が出されたが定刻となったため閉会する。

閉会(事業者)

本日は各委員からの貴重なご意見、ご要望をこれからの番組制作に活かしていくと共に、更に期待され観ていただけるチャンネルとなるよう努力していく所存である。

以上